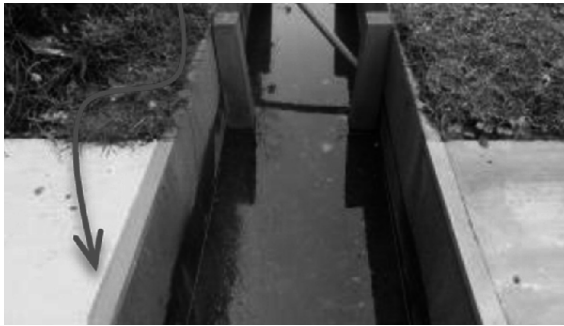




防草プレート



防草プレート施工例 (新潟市内)

の防草対策の必要性を感じていたという。既設の構造物や水路側壁部など、現場構造に合わせた加工が可能で簡単に設置できる。既存側溝の場合、本体天端部に防草プレート被せて張りコンクリートなどを行うと、防草ブロックと同様に植物が自ら成長を抑制する。昨年9月、新潟市内の排水路修繕工事で試験施工を実施して効果を確認した。

ポルトナット防錆キャップ

「まもるくん」

高品質ポリカーボネート製のポルトナット防錆キャップ。合成ゴムEPDMの防水パッキンと透明シリコンゴムの緩み止め機構により、ポルトとナットの錆による劣化を防止。インフラ長寿命化に貢献する。高い透明性により、保守

点検時にカバーを外さずに目視検査が可能。業界で初めて、複合サイクル腐食試験(CCT試験)で200サイクルをクリアした。高規格道路の照明柱や標識柱の基礎部から出ているアンカーボルト、高架橋の高力ボルトなどの防錆用として引き合いが増えている。

この他、勉強会ではウエイストボックスが「カーボンオフセットについて」と題して、その仕組みについて解説した。また講演会では、ナレーターの辻村勲滋氏が「技術Ⅱ和術Ⅱ輪術」と題して、ビジネスシーンや日常生活で役に立つ話し方の基本、相手や周囲と良好な関係を築く接し方、会社で役立つ会話術などの話題を通じて、職場や組織活性化のヒントについて話をした。

第8回 総会を開催

全国防草ブロック工業会(会長=矢野明正氏)は6月18日、名古屋ガーデンパレス(名古屋市中区)で第8回総会を開催した。総会では平成30年度活動経過報告・会計報告及び令和元年度活動計画案・予算案を原案通り可決承認した。

施工延長累計371km

全国防草ブロック工業会

CO₂削減にも貢献

●総会く薫風を受け更なる発展を

総会開催にあたり挨拶した矢野明正会長は「当工業会は8回目の総会を迎えることができた。防草ブロックは防草研究会の石川重規代表の努力もあり、様々な賞を受賞している。学識経験者による第三者機関のお墨付きがあるから、我々も自信をもって営業できるし、発注機関も採用しやすい。また、名古屋大学をはじめとするフィールド試験では期待通りの成果が得られている。そういう好循環が生まれているのではないか。新元号の令和には薫風の意が込められ



矢野会長

ているというが、当工業会にも追い風が吹いている。我々にとつて良い風とは仕事量があつて収益が上がることだと思う。これからも皆さんと協力し、全会員社の業績がさらに向上することを祈念している」と述べた。

議案審議は矢野会長を議長に選任して進められ、平成30年度活動経過報告・会計報告及び令和元年度活動計画案・予算案を原案通り可決承認した。

同工業会の活動報告によると、昨年度は施工延長100km、販売額3億円を目標に掲げて販売促進に取り組み、施工延長は72.4km(前期比13.0%減)、販売額2億7300万円(同15.5%増)、累計の施工延長では371km(1439件)となった。受賞関係では、第2回インフラメンテナンス大賞「優秀賞」、第5回ジャパンレジリエンスアワード「最優秀賞」を獲得。また会員社、後藤商店(広島県)が製造するGS防草ブロック(日新製鋼周南製鋼所で発生するステンレススラグを含む天然砂代替材を、細骨材の

一部に使用した防草ブロック)が、山口県認定リサイクル製品の認定を受けた。この他、群馬県と福島県でフィールド試験が始まった。同工業会には東陽上村アドバン(北海道)、北陵GRC工業(北海道)、共和飯塚(栃木県)、新生興産(栃木県)、ソイル工業(大阪府)の5社が新規入会し、会員社数は全国36都道府県61会員(正会員50社、賛助会員10社、顧問1名)となった。

今期は販売額3億円(300件)を目標に掲げ、新規会員の増強や製品技術のプレゼン発表などを通じて販売促進に取り組む。展示会ではE.E.東北2019(6月)をはじめ、建設技術フェア2019中部(10月)、やまぐち産業維新展(10月)、ナゴヤメッセ2019(11月)などへの出展を予定している。本年度は名古屋大学に続き、宇都宮大学(雑草と里山の科学教育研究センター)でフィールド試験施工も実施する計画で、防草ブロックをはじめエレファントレン、防草シートなどのJWBA製品を敷設する予定。名古屋大学大学院(生命機能開発利用研究センター)や内閣府沖縄総合事務局(南部国道事務所)、寒地土木研究所、京都市役所など全国7カ所で行っているフィールド試験と合わせて経過観察を進める。また7月8日付で、同工業会7番目の支部として、

北海道支部が正会員4社により発足した。

防草ブロック371kmで

860トンのCO₂を削減

同工業会では、防草ブロックの敷設で従来の防草対策工事が不要となることによるCO₂削減効果にも着目。これまでの施工実績に基づいたCO₂削減量を年3回、専門機関のウエイストボックス(愛知県)に依頼して算出している。それによると防草ブロックを総延長371km施工した結果、860トンのCO₂の排出が削減された。従来の防草対策作業範囲100mあたりのCO₂削減効果は232kgになるという。

●第2部

第2部では新製品「防草プレート」や会員社、共和ゴムが開発したポルトナット防錆キャップ「まもるくん」の紹介をはじめ、勉強会や講演会などが行われた。また防草技術のアドバイザーとして、同工業会に関わってきた北野英己名古屋大学名誉教授の退官を祝い記念品を贈呈した。

新製品「防草プレート」の販売開始

防草プレートは防草切欠け構造を持つ鋼製のアタッチメント。既設構造物の側面から成長する雑草の防草対策を目的として開発した。新設工事では防草ブロックが有効だが、営業活動を通じて既設側溝

ジャパンレジリエンスアワード2019

「最優秀レジリエンス賞」受賞

防草ブロック・製品型枠製造、防草エレファントレン、防草プレート、防草アグリシート、目地フォーム、防草・止水目地材スーパーフレックス、リサイクルガラス造粒砂サンドウエーブG

【北海道・東北】 山田産業(株) (株)旭ダンケ 東陽上村アドバン(株) 北陵GRC工業(株)	(株)坂内セメント工業所 工藤コンクリート(株) 中栄コンクリート工業(株) (株)北斗型枠製作所 ※	【中部・北陸】 矢野コンクリート工業(株) カネヤス建材工業(株) 大有コンクリート工業(株) (株)丸治コンクリート工業所 協和コンクリート工業(株) 平和コンクリート工業(株)	松阪興産(株) 石田鉄工(株) 土屋建材(株) (株)高見澤 (株)アドヴァンス (株)安達コンクリート工業	(株)三秀 ※ トーエイ(株) ※ (株)フォーテック ※ (株)大地 ※
【関東】 太陽コンクリート工業(株) トキワコンクリート工業(株) (株)赤城商会 (株)エコム カイエー共和コンクリート(株) (株)共和飯塚 新生興産(株) 富山コンクリート工業(株) 小河原セメント工業(株) (株)武井工業所 柳沢コンクリート工業(株) ヤマケイプレコン(株) 三洋コンクリート工業(株)	千葉窯業(株) 豊国コンクリート工業(株) 岡村建興(株)	【近畿】 カサイコンクリート(株) 山陰コンクリート(株) ソイル工業(株) 日本ワイドクロス(株) ※ 共和ゴム(株) ※ (株)ホーシン ※	【九州・沖縄】 下村コンクリート工業(株) 沖縄コンクリート二次製品(協) 森山工業所(株) ※ (有)中野工業所 ※	【顧問】 防草研究会
【中国】 和光産業(株) (株)イズコン (株)ホクコン (株)後藤商店 (株)環境ミネルバジャパン ※	【四国】 (株)カンケン (株)カシハラ 松井建材(有) (株)キクノ	【賛助会員】		

http://jwba.biz/ 環境型インフラをデザインします

jWBAの道路製品・技術、開発者は、環境省・国土交通省・農林水産省はじめ日本を代表する大学や国の研究機関の有識者から唯一「次世代型の環境製品」「技術開発者」として評価されています。

私たちの製品・技術は「800t以上」のCO₂を削減しました

jWBA 全国防草ブロック工業会 ★★★★★★★★★★
愛知県豊田市田初町広久手614-184 矢野コンクリート工業(株)内

【新規加盟企業募集】 TEL: 0565-43-3700 FAX: 0565-43-1855 mail: iwata@yanocon.co.jp (岩田)